

平成25年6月25日～7月1日までの全国の暑さ指数（WBGT）の
観測状況及び熱中症による救急搬送者数と暑さ指数との関係について
（お知らせ）（平成25年度第2報）

1. 目的

環境省では、暑さ指数(WBGT：湿球黒球温度)の予測値・実況値について、今年度は、5月13日(月)から情報提供を開始したところです。今般、全国の熱中症患者数が急増していることから、暑さ指数の情報提供に加え、暑さ指数の推定精度の高い約150地点について、過去1週間程度の暑さ指数の観測状況、暑さ指数と熱中症患者搬送数との関係について、定期的に情報提供を行うことといたしました。本情報等を活用し、広く熱中症の予防にご協力いただきますようお願いいたします。

2. 先週(6月25日～7月1日)の全国の暑さ指数の観測状況について

暑さ指数31℃以上(危険)の時間数(168時間中)

1. 石垣島、久米島(沖縄県)	52時間
2. 宮古島(沖縄県)	24時間
3. 与那国島(沖縄県)	21時間
4. 名護(沖縄県)	13時間
5. 那覇、南大東島(沖縄県)	8時間

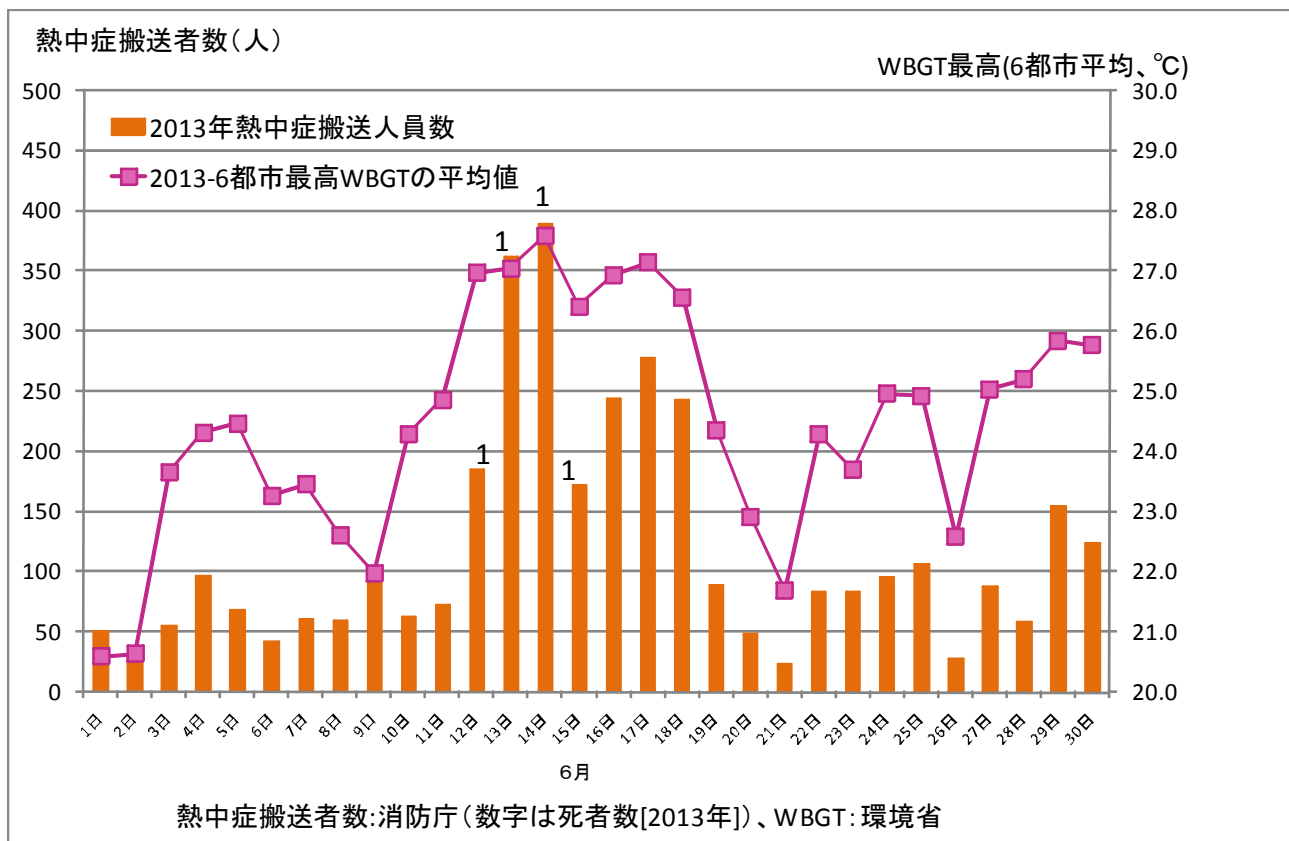
<参考>全国6都市の観測地点

新潟(新潟県)	0時間
東京(東京都)	0時間
名古屋(愛知県)	0時間
大阪(大阪府)	0時間
広島(広島県)	0時間
福岡(福岡県)	0時間

- (注1) 暑さ指数は、これまでの調査結果による推定手法を用いて、気象庁の観測資料から推定した値です。
(注2) 暑さ指数31℃以上の時間数は、今回の調査では、久米島、石垣島の52時間が最多で、153地点のうち9地点で暑さ指数31℃以上の時間がありました。なお、暑さ指数31℃以上とは、(公財)日本体育協会の指針において、運動は原則中止レベルです。

3. 6都市の暑さ指数と熱中症による救急搬送者数（全国）との関係

6都市：東京都、大阪市、名古屋市、新潟市、広島市、福岡市



○6/24 から 6/30 にかけて 6 都市平均の最高 WBGT は 23～26°C で、熱中症による救急搬送者数は消防庁発表の速報によると、28～124 名前後のやや高い水準となっています。東日本・西日本を中心に一時高温になったことから、6 月の熱中症による救急搬送者数は昨年と比べて多くなっています。

○6/25 から 7/1 までの期間、梅雨が明けている南西諸島では、日中の WBGT 最高値は期間を通して 31°C で、熱中症に対して警戒が必要な状態になっています。また、熱中症危険度の「厳重注意」を示す WBGT28°C を超えた地点は 11～19 地点（全 153 地点）で、熱中症に注意が必要な状態になっています。

○気象庁発表（7/3 11 時時点）の週間天気予報では、最高気温・最低気温ともに、平年並か平年より高く、平年よりかなり高くなる所もある見込みです。

○梅雨の晴れ間や梅雨明け後の急な暑さは、熱中症に対して特に注意が必要な時期です。最新の気象情報を利用し、熱中症に対し十分に注意してください。こまめな水分補給と休息などで、体調管理に注意してください。

(注) 6 都市における暑さ指数は、環境省の観測と気象庁の観測資料から求めた観測値です。

6 都市：東京、新潟、名古屋、大阪、広島、福岡